

衝撃の8.2万件：2025年12月、日本の特許出願が異例の急増

2025年12月、日本の特許出願が前年比約2.7倍の82,188件に達するという、過去に例のない異常事態が発生。
この急増はAI関連の大企業による戦略的な大量出願が要因と見られ、知財業界に衝撃。

統計データが示す「異常事態」

- 12月の出願件数が前年比168.9%増
通常の2~3万件を遥かに上回る82,188件を記録し、知財業界に衝撃。
- 17年ぶりの高水準（年間35万件超）
リーマンショック後の2008年以來、約17年ぶりとなる歴史的な出願規模。

82,188件 **+168.9%**
前年同月比



11月(2025年):
30,507件
(+35.6% 前年同月比)

10月(2025年):
26,281件
(▲0.9% 前年同月比)

推定される要因と背景



特定企業による「万単位」の大量出願
AI関連の大企業が、短期間に数万件規模の一括出願を行った可能性が極めて高い。



ソフトバンクグループの先例
2023年にAI関連で約1万件を一斉出願した事例があり、同様の動きと推測される。



第4次AIブームと特許競争
生成AIの普及に伴い、企業による早期の権利確保と防衛的出願が加速しています。